

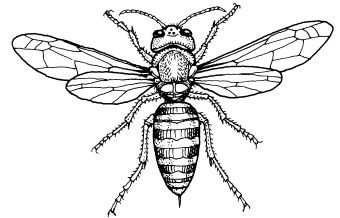
# ★危険な動物

## 刺す動物：毒針を持つハチのなかま、体が毒毛でおおわれたガの幼虫

### ①オオスズメバチ（体長：約30～40mm）

- 他のハチに比べて攻撃性の強いスズメバチは5月頃から巣作りを始め、7月頃に働きバチの羽化が始まって数を増やし、10月頃がもっとも多くなる。夏から秋にかけて事故が多くなるので気をつける。
- スズメバチのなかでも特に攻撃性が強いのがオオスズメバチで、体もいちばん大きく毒性も強いので、より注意が必要である。
- オオスズメバチは、ノネズミやモグラなどの古い巣穴を利用して、地下に大きな円形の巣を作る。

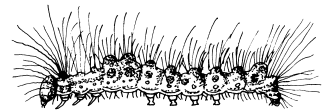
①オオスズメバチ



### ②ドクガ（幼虫の体長：約40mm）

- 北海道から九州まで分布している。
- 幼虫の食草は、クリ、サクラ、ウメ、バラなど100種以上ある。これらの木は人の近くにあるため、接する機会が多い。
- 幼虫は5～6月に現れる。成虫も毒毛を持つ。

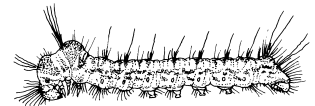
②ドクガの幼虫



### ③マツカレハ（幼虫の体長：約56mm）

- 日本各地に分布している。
- 幼虫の食草は、アカマツ、クロマツ、ヒマラヤスギなど。
- 幼虫は4～6月に現れる。幼虫だけでなくまゆにも毒針毛がある。

③マツカレハの幼虫



### ④イラガ（幼虫の体長：約24mm）

- 北海道から九州まで分布している。
- 幼虫の食草は、カキ、ナシ、サクラ、ウメ、クリ、クルミなど。
- 全身に有毒のとげがある。
- 幼虫は7～10月まで見られる。
- 刺されると他の幼虫より痛みが激しいが、治りは早い。

④イラガの幼虫

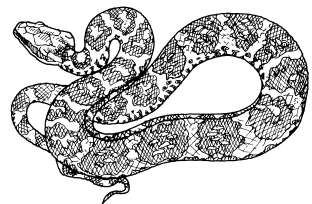


## 咬む動物：毒牙を持つヘビのなかま、ムカデのなかま、クモのなかま

### ①マムシ（体長40～50cm）

- 頭部は長三角形で、太くて短く、背面は茶褐色地で黒褐色の銭形の斑紋が交互に並んでいる。
- 南西諸島を除く日本各地に分布し、平地、山地、森林、水田、畑、湖沼、河川周辺など、様々な環境に生息する。
- マムシは攻撃性の少ないおとなしいヘビである。
- 誤って踏んだり、捕まえようとしたりして、咬まれることがある。

①マムシ

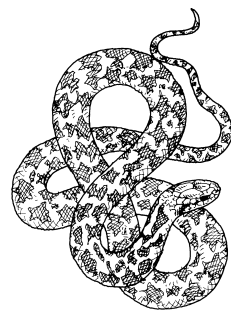


### ②ヤマカガシ（体長60～160cm）

- 背面は褐色地に黒斑と赤斑が入り混じり、首に黄色の帯がある。  
⇒体色は地方によって変異が大きいので、居住地域に棲息するヤマカガシの体色を調べておく必要がある。
- 本州、四国、九州に分布し、平地から山の麓の水田や河川などの水辺に生息する。

- おとなしいヘビであるが、「毒ヘビ」である。
- このヘビの毒牙は口の奥深くにあり、腕や脛を咬むときには毒牙は肌に当たらないが、のみ込まれるように咬まれると毒牙に届き、血液凝固を阻止する毒液が注入される。さらに問題なのは、頸部背面に並ぶ頸腺で、ここから噴出する白濁した毒液は皮膚や目に入ると、強い炎症を起こす。頸部に毒腺を持つのはこのヘビだけである。
- このヘビの毒が静脈に入ったときの毒性は、コブラ並といわれている。

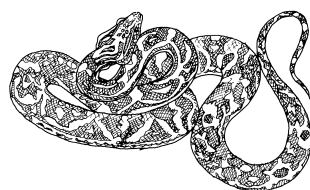
②ヤマカガシ



## ③ハブ（体長100～220cm）

- ハブは、ハブ属（4種で、他にヒメハブ、サキシマハブ、トカラハブがいる）の中の最大種で、毒量も多く攻撃性が高い。
- 頭部は三角形で、首は細く、背面は黄褐色地に黒い斑紋がある。
- 奄美、沖縄諸島に分布し、平地にも山地にも生息する。
- 森林・畑（特にサトウキビ畑）・ソテツ林に多く、ときには家屋内にも侵入する。
- 木に登ることもあるので、頭上にも注意が必要である。
- 昼間は、石垣や草むら、倒木の下などに潜み、夜活動する。
- 動物の体温とにおいに反射的に反応して、素早く咬みつく。

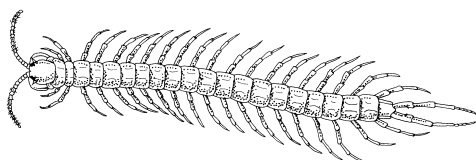
③ハブ



④トビズムカデ

## ④トビズムカデ（体長：110～130mm）

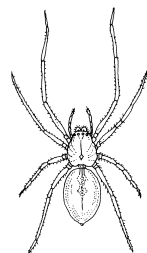
- 北海道を除く日本各地に分布している。
- 夜行性で、昼間は落ち葉や石の下にいる。
- 夜間、家屋内に入って来ることもある。



## ⑤カバキコマチグモ（体長♀：12mm、♂：8～10mm）

- 北海道から九州まで分布している。
- 平地から山地のススキが茂る草原に多い。ススキの葉を巻いてその中にいる。それを不用意に開けると咬まれる。

⑤カバキコマチグモ



血を吸う動物：アブのなかま、ヒルのなかま

## ①アオコアブ（体長：約20mm）

- 本州、四国、九州に分布している。
- 山林や山道、牧場の近くに多い。
- 7、8月に現れ、昼間、吸血する。ときには夕方や夜間にも吸血することもある。

①アオコアブ



## ②ヤマビル（少し縮んだときの体長：約20mm）

- 川沿いの山林、雨上がりの山道に多い。
- 吸血箇所は血が止まらないのが特徴。圧迫して止血する。

②ヤマビル

